

じんげん ア ジ ー ル asile

秋冬号
2015
大谷大学広報誌

文章表現の力を高める「文藝塾」

文章表現の力を高める「文藝塾」

2015年4月よりスタート

作家や記者など“書く仕事”をめざす学生をはじめ、主体的に自己表現するための
高度な文章作成能力を身につけたい学生に向けて開設された「文藝塾」。

その魅力と今後の可能性について、受講する学生二人と共に語り合いました。



意識をもった学生が集まり 文章力を高め合う場

大秦 まずお二人は、どういうきっかけや理由で「文藝塾」を受講しようと思われたのかお聞かせください。

内海 私は将来、文章を書く仕事に就きたいという想いがあって、ゼミの先生に相談していたんです。そのときに「文藝塾」のことを聞き、「じゃあ受けてみよう」と。

大秦 なるほど。将来の進路を視野に入れて、ということですね。神保さんはいかがですか？

神保 私が「文藝塾」のことを知ったのは、昨年のオープンキャンパスの時。文章に強くなりたい人のための講義が始まると聞いて、それで「大谷大学に入学しよう！」と決めた部分も大きいです。

大秦 昨年といえば、まだ「文藝塾」の準備段階の頃ですね。

神保 はい。だからとても楽しみにしていました。

内海 学内では、そんなに大きく告知されていませんでした。

大秦 実は、それには狙いがあるんです。そもそも「文藝塾」を開設する目的は、高度な文章表現能力を養成し、将来のキャリアイメージの向上をめざすというものです。そのため、単に人数を多く集めるよりも本当に意識の高い学生が学び合う場にしようとして、告知を最小限に抑えたいんです。

神保 2年生や3年生の先輩方よりも、オープンキャンパスに参加した1

年生のほうが知っているかもしれないですね。

大秦 実際、現在受講している学生は約20名。お二人を含めみんな意識が高く、毎週課題として提出してもらいう文章やアンケート回答などは教員陣からも高い評価を得ているんですよ。

内海 もっと多くの学生に知ってほしいな、という気持ちもあります。

大秦 もちろん。今はまだ試行段階。この1年をとおしてより良い学びの場にしていきたいと考えています。

人の話を「聞く」ことで 理解し考え、発見する

大秦 そのためにも、お二人の意見を聞きたいところ。「文藝塾」は正課授業としての「文藝塾講義」と、さまざまな分野から外部講師を招いて講座を行う「文藝塾セミナー」との2本柱でスタートしましたが、実際に受講しているかがですか？

神保 セミナーもそうですが、講義でも作家の津村記久子さんにお話を伺えて、とても面白かったです。作家の日常なんて普段は知ることができませんから、遠く感じていた文学の世界を身近に感じられるようになりました。

内海 私は将来、ものを書く仕事に就きたいということもあって、お話を伺うだけでなく実際に書いたものを評価し合う場がほしいですね。講師のお話にも「大事なことは書き続ける姿勢なんだ」とありました。

大秦 そのことで私はとても印象に

残った言葉があります。講師にお呼びしたどの先生も一様に、文章を書くことに「才能は関係ない」とおっしゃったこと。才能の塊であるはずの文学者が「才能ではない」とはどういうことなんでしょうね。

神保 「好きな小説を1本書き写しなさい」「気づいたことをメモしなさい」とも言われましたね。そうした作業は確かに「才能」ではありません。でも、それをやってみようと思う姿勢が、書く力につながるということかな？

内海 日々何気ない風景や人の言葉に目を向けて何かを感じるようになって、特別な才能ではなく本来子どもの頃はみんな持っていたはず。そして作家の方はそれを継続して持ち続けていると思うんです。

大秦 私自身はそういう力をやはり「才能」だと思うけど、ただそれを凌駕するだけの「努力」があるんだろうなと考えています。こうして人の話をじっくり聞くなかで理解し考え、発見していくことが「文藝塾講義」や「文藝塾セミナー」の狙いでもある。現在、講義では文学をテーマに授業を行っています。ですが、教える立場から「こうだ」という一つのカタチを押しつけることはしません。学生の皆さんが真剣に聞き、何かを受け取って考えていくという意識をもって参加してもらえることが、大きな成果だと思います。

「書く力」を鍛える

演習が来年からスタート



副長 准教授 浩
文藝塾 文学科 大 秦



哲学科 第3学年 透 雄
内海



文学科 第1学年 実 遊子
神保

大秦 しかし、先ほども述べたように「文藝塾」は、まだまだ試行段階で完成形ではありません。内海さんが言ってくれた「実際に書く場所」として、来年から「文藝塾演習」がスタートします。講義やセミナーでさまざまな話を聞き、そこで培った知識や考えを演習で花開かせていく…3本の柱で学びの展開を図っていくのが今後考える「文藝塾」の姿なんです。

内海 ますます楽しみですね。今は学生が書いたものを提出して終わりですが、やはりそれを評価していく場、何が良くて何がダメなのかを実際に書いて考えていく場が必要だと思います。

神保 作家の方だけでなくライターや記者などいろんな分野の講師をお招きして、いろんな種類の文章を書く場になればさらに面白いかも。

大秦 そうですね。演習についてはまだまだ手探り状態ですけど、最終的には外部への投稿を考えています。それ

と同時に、講義やセミナーについてももっともっと内容の濃いものにしていきたい。

神保 ※次回のセミナーは編集の方をお呼びするんですね？

大秦 そう。作家という書く立場だけでなく、文章を評価する編集というまた違った立場からのお話を聞くことで、文章を書くこととはどういう事なのかを考える場になれば嬉しいです。

内海 そうした貴重な機会だからこそ、ただ教えられるだけでなく、学生がもっと主体的に質問したりテーマを投げかけたりしていきたいところ。

大秦 教える側と学生が一体となって「文藝塾」を創り上げていくというイメージですね。

神保 将来への視野もグンと広がるし、意欲のある学生は、ぜひ参加してほしいですね。

※7月16日の文藝塾セミナー
前期の「文藝塾」セミナーの詳細はP.5をご覧ください。

キャンパストピックス

2015年7月15日(水)・16日(木)

祇園祭ごみゼロ大作戦

大谷大学から1000人を超える学生が参加

祇園祭の山場となる山鉾巡行前の宵山行事期間中、多くの夜店・屋台が四条烏丸を中心に立ち並び、国内外から多くの来場者が訪れます。しかし、散乱ごみなどは以前に比べ減ったものの、可燃ごみの量は増えている一方で、大きな環境負荷がかかっている現状がありました。そこで、昨年より夜店や屋台のご協力ののもと、日本初、そして世界初の試みとして、使い捨て食器をリユース食器に切り替える祇園祭ごみゼロ大作戦を展開。今年は学生(106名)、教職員(8名)の計114名が参加し、リユース食器の回収や、ごみの分別作業に汗を流しました。

参加者の加藤優さん(社会学科第3学年)は、「あるお店の方から『君たちの活動で、本当にごみの量が減ったので感謝している。ありがとう、頑張つて』と言われ、活動が人の役に立っていると実感しました。行動することで意識が変わるし、一人ひとりの意識が変われば大きな力になる」と語ってくれました。プロジェクト担当の赤澤清孝(社会学科)先生は「授業では、環境問題と市民参加をテーマに、ごみゼロ大作戦の運営に関わるNPOや行政、ごみ処理事業者などさまざまな立場の方に講話いただきました。地域の伝

統行事の歴史や、社会問題を理解し、実際に活動して地域に貢献する経験は、学生にとって貴重な学びの機会となりました」と評しています。また、ごみゼロ大作戦副実行委員長の大田航平さんは、「台風の影響で悪天候のなか、学生たちは大きな声を出して頑張ってくれました。経験を活かして来年の活動のリーダー役を務めてほしいです」と期待を語りました。



2015年5月14日(木)

GLOBAL SQUARE 主催「留学生と日本文化で遊ぼうーかるた大会ー」

GLOBAL SQUAREにて「留学生と日本文化で遊ぼうーかるた大会ー」を開催しました。このイベントは、語学学習と国際交流のサポートを行う「語学学習支援室アシスタント(在学生)」が企画したもので、在学生が留学生と交流を持つきっかけとなるよう、また、GLOBAL SQUAREの利用方法を学生のアシスタントから伝えることで、在学生がGLOBAL SQUAREをより身近に感じ、利用が増えることを願って開催しました。

当日は在学生と留学生の約30名が混合チームに分かれ、トーナメ

ント形式でかるた取りを行いました。ひらがなのかるたを利用しましたが、在学生よりも留学生の方がかるた取りが早く、大いに盛り上がりました。

GLOBAL SQUAREではこのような留学生との交流企画を随時実施しています。後期には、Big Valley Cafeにて外国人と気軽に外国語で話すイベント「外国語カフェ」を開催します。詳細は響流館3FのGLOBAL SQUAREまでお尋ねください。



2015年7月8日(水) 中国社会科学学院歴史研究所 本学訪問

7月8日(水)、中国社会科学学院歴史研究所の王震中副所長、徐義華研究員、張國旺副研究員が学長を表敬訪問されました。本学真宗総合研究所と中国社会科学学院歴史研究所は、毎年研究者交流を行っており、今回も真宗総合研究所国際仏教研究(東アジア班)と共同研究ならびに公開講演会を行いました。

中国社会科学学院は1977年5

月に設立された中国の哲学・社会科学研究の最高学術機関で、総合的な研究センターとして30を超える研究所や研究センター・大学院を設置する国務院直属の機関です。今後も継続的な交流が期待されます。



2015年7月3日(金)

本部キャンパス総合整備計画 (仮称)新教室棟新築工事／起工式開催

7月3日(金)午前10時より、建設予定地(旧至誠館・開思館・3号館跡地)を会場に、起工式を執り行いました。

起工式には、大谷大学同窓会、大谷大学教育後援会、建設工事関係会社などから多数のご列席をいただき、勤行に引き続いて「鍬入れの儀」が行われ、続いて里雄理事長はじめ工事関係者からのご挨拶をいただきました。

今回のキャンパス総合整備計画は、「自ら創る「学び」のかたち―伝統を、社会に開き、未来へつなぐ―」という理念のもと、建学の精

神を未来へとつないでいくべく、尋源館という本学のシンボルを大切にし、学生諸君のさまざまなキャンパスライフについて機能的にサポートすることを実現するように設計されています。

本部キャンパス総合整備は、2期工事竣工2016年9月中旬(中央・南エリア／オープン)、3期工事竣工2018年4月1日(北エリア完成／グラウンドオープン)に向け、いよいよ2期工事の建築に着手します。



2015年2月24日(火)～26日(木) 第46回全日本大学個人ボウリング選手権大会に京都府代表選手として出場!

2月24日(火)～26日(木)にかけて、国際文化学科第2学年の池口風沙さんが、「第46回全日本大学個人ボウリング選手権大会」に京都府代表選手として出場しました。

初日の予選では「これまでで1番の感触だった」という言葉どおり、3ゲームの合計が「791」(平均264)という驚異のスコアを残し「ハイシリーズ」をもらえたとのこと。その後の予選では全選手中5位で予選を勝ち抜き、最

終日の準決勝でも同位で通過して決勝まで勝ち上がり、全女子学生44名中7位という結果でした。

「いつも朝早くから来てくれた家族には本当にありがとう、という思いでいっぱいです。ボウリングをするうえで大きな心の支えです」と、感謝の念を述べました。



2015年6月6日(土) 北区制60周年記念 北区民ふれあいまつり2015に参加

船岡山公園にて、「北区制60周年記念 北区民ふれあいまつり2015」が開催され、本学からは、男声合唱団・学園祭実行委員会・新聞社が参加しました。

ステージでは、男声合唱団が大谷大学歌と仏教讃歌「礼賛『無量寿』・『恩徳讃』」を披露しました。男声合唱団は、少人数ながらも堂々とした立ち居振る舞いで、普段の練習の成果を発表し、仏教讃歌とはどのようなものか知っていたただけ機会となりました。

学園祭実行委員会は、模擬店舗

助と自転車整理などの運営補助として参加しました。模擬店を出店するのではなく出店する人たちの手伝いや、運営側として受付や警備を行った今回の経験は、11月の学園祭にきつと活かしてくれると思います。

新聞社は、各ブースを取材したり、参加した本学学生にインタビューを行いました。それぞれの団体の今後の活躍を期待しています。



(写真：大谷大学新聞社提供)

2015年8月7日(金)
おおたにキッズキャンパスお
でかけ隊 イオンモールでの
イベントに参加!

おおたにキッズキャンパスの学生
スタッフが、イオンモール京都五条
で行われた「キッズ本格おしごと体
験(京都市・京都市教育委員会後
援)」に参加しました。今回は出張
おおたにキッズキャンパスとして、
「だいすき! 図画工作 パズルBOX
をつくろう!」をテーマに行いま
した。

学生スタッフたちは子どもたち
に対して元気で笑顔で接していま
した。最初は緊張した様子だった子
どもたちも徐々にリラックスして
いき、パズルBOXが完成すると嬉
しそうにしていた様子がとても印
象的でした。

このイベントに参加した学生ス
タッフにイベントの感想を聞くと、
「子ども一人ひとりに丁寧に対応す
ることがとても大切だと感じまし
た。子どもたちが作り方を理解でき
るように、年齢に合わせた言葉を
選んでいくのはとても難しく思っ
ました」と語ってくれました。



CHECK UP!

文藝塾セミナーを開講

2015年4月に開設されま
した文藝塾では、さまざまな職業
分野で必要とされる「読み書き」
について学ぶ「文藝塾セミナー」
を開講しています。4月以降、月
1回のペースで開講してきた文
藝塾セミナーは、「本当に『読み書
き』できていますか?」を共通の
テーマとし、これまで映像翻訳、
広告、コピーライター、編集、俳句
の分野を取り上げてきました。

各回とも10数名の受講者があ
り、予定時間に終わることがない
ほど積極的な質疑応答が交わされ
ました。セミナー終了後も残って
熱心に質問をする学生の様子も



見られ、講師の方々も一様に受講
生の真剣さに驚かれました。

また第2回目からは、セミナー
に参加できなかった方のために
セミナーの様子を撮影し、授業配
信システムを利用した受講もで
きるようにしています。受講方法
については学生情報提供システム
で紹介していますのでご確認ください。

後期の文藝塾セミナーは、前期
のセミナー以上に体験的に学べる
機会を盛り込んだ内容となつて
います。実践的な読み書き能力
を身につけたい方は、積極的にご
参加ください。

● 前期文藝塾セミナー

- 第1回 「映像翻訳の世界」
新楽 直樹 氏
(日本映像翻訳アカデミー株式会社代表)
- 第2回 「広告制作の世界」
別所 正章 氏
(大広関西コミュニケーションデザイン局
コミュニケーションデザイン部部长)
- 第3回 「ライティングという仕事」
萩原 健次郎 氏
(コピーライター・詩人)
- 第4回 「編集者の視点」
安藤 卓 氏
(PHP研究所常務取締役)
- 第5回 「俳句の世界」
安原 葉 氏
(「ホトトギス」同人会代表)

人事情報

Personnel Information

2015年度 春季大会結果

Club Information

松永 歩
〔学習支援アドバイザー〕
2015年5月1日付



樋口 孝司
(教育研究支援部)
2015年7月1日付

新規採用
〔事務系嘱託〕

山村 依利
(企画・入試部)
2015年9月30日付

野村 亮介
(企画・入試部)
2015年8月31日付

瀧井 理絵
(教育研究支援部)
2015年5月24日付

山岡 朝子
(学生支援部)
2015年5月31日付

中井 信介
(任期制助教/文学部/社会学科)
2015年7月31日付

依願退職
〔教育職員〕

卓球部
●平成27年度春季関西学生卓球リーグ戦
4部Cブロック4位

硬式野球部
●平成27年度 京滋大学野球連盟春季リーグ戦
I部5位
〔ベストイン賞(捕手)〕
大久保 智貴/社会学科第3学年

ソフトテニス部
●平成27年度関西学生ソフトテニス春季リーグ戦
男子8部1位(7部昇格)
女子4部Bブロック6位
男子5部リーグ4位

バドミントン部
●平成27年度関西学生バドミントン春季リーグ大会
女子4部Bブロック6位
男子5部リーグ4位

※入賞者の学年は、大会時のものです。

紫明祭2015

多くの笑顔や思い出が生まれる紫明祭。今年も最高の思い出をつくろう！

今年のテーマは

谷大の底力みせちゃいな祭

皆さん、とうとうこの季節がやってきました。大谷大学の1年に1度の大イベント紫明祭です。私たち、学園祭実行委員一同、日々準備を進めてきました。

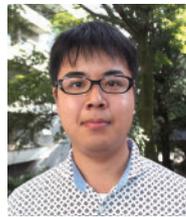
2015年度の紫明祭のテーマは「谷大の底力みせちゃいな祭」です。今年度のテーマは昨年同様、本学学生の公募により決定しました。今回のテーマには「各団体がこの日に向けて必死でがんばっている姿をアピールしたい」という願いが込められています。

また、今年度も昨年度に引き続き「大谷大学」が「大谷タウン」という町に変身し、学生・教職員などは町の住人となります。「大谷タウン」における年に一度の住人総出のお祭り」が紫明祭です。紫明祭に関わる全ての住人が主人公となり、老若男女誰もが楽しめるイベントをめざしています。より開かれた町づくりをするためにも、今までにないほど力を合わせて紫明祭を成功させたいと思っています。

また、今年は北区制60周年ということで北区役所にもご協力をお願いしております。北区の連携イベントをはじめ、今までの紫明祭にはないものをお届けしたいと考え

ています。

10月初旬からはプレイベントも実施します。紫明祭、プレイベントなどの詳細は大谷大学学園祭実行委員会公式ホームページ、Twitterをご覧ください。ぜひ、皆さん紫明祭で最高の思い出を作りましょう。



学園祭実行委員会委員長
人文情報学科 第3学年
本田 尋



大谷大学学園祭実行委員会公式ホームページ
<http://shimeisai.com/>

Twitter アカウト @shimeisai

EVENT PICK UP! 主なイベント

11/13 金

時間
17:00
19:30

前夜祭

「走り出せ。ヒカリの中を駆け巡れ！」
展示・模擬店の紹介、ビンゴ大会。



11/14 土

時間
16:00
19:30

内部・外部音楽イベント

「MUSIC LETTER ~届けよう。僕らの音楽を~」
大谷大学内外の音楽団体による演奏。



11/15 日

時間
15:00
16:30

プロアーティストコンサート

出演者は誰か?! 詳細は大谷大学学園祭実行委員会公式ホームページ、Twitter をご確認ください。



時間
18:00
20:00

後夜祭

えいしさっそう
「栄紫颯爽」

テーマ・展示・模擬店の表彰式、抽選会、思い出ビデオ・エンドロール。



ENJOY!

ライブ

アフタースクールをもっと楽しもう!

今回は本格インド料理の大人気店
「NAYA INDIA NOOR」をご紹介します。
ぜひお友達と誘い合って出かけてみてね!

インドを感じるならここ! 大学近くのインド料理屋さん。



北大路の街に溶けこむインド料理屋さん!
こだわりのインテリアと
スパイスの良い香りに魅了されます。

お店の扉を開けた途端、スパイスの良い香りが漂う
NAYA INDIA NOOR。店内に入るとインドやトルコ
の可愛いインテリアたちが迎えてくれます。創業して
2年ほどですが、店内は満席。2年という短さを感じさ
せず、もっと前からあるような雰囲気です。北大路の街に
溶けこんでいます。踊りだしたくなるようなインド音楽
とオシャレなインテリアに囲まれながら、おいしいイン
ド料理を楽しめます。



店長のシェイク・ヌルルさん

あれもこれも
食べたい~!

どれにしようか
迷ってしまうほど、
充実したメニューの数!

なんといっても驚くのがメニューの豊富さ! どれを食べようか迷ってしまうほどの多さです。おすすめメニューは「特選マトン・ラーンのターリ」(1,650円)。シシカバブ(肉の串焼き)や2種類の日替わりカレー、ボリュームたっぷりのタワパロタ(鉄板で焼いたパン)など、現代風インド料理がプレートに盛り合っています。食後に飲むあま~いラッシーも最高!





今回は私たち
GLOBAL SQUAREアシスタントと
留学生の4人が紹介します！

GLOBAL SQUAREでは留学や語学学習のサポートはもちろん、留学生との交流も盛んに行っています。さまざまな国の方たちと、お互いの文化を尊重し、理解しあいながら、毎日楽しく活動しています！

谷大

写真左より 施 夢情 (国際文化学科第3学年) [東北師範大学(中国)とのダブルディグリープログラムにより留学中]・千代松 花厘 (国際文化学科第2学年)・孫 雪 (国際文化学科第3学年) [首都師範大学(中国)とのダブルディグリープログラムにより留学中]・伊賀 彬子 (国際文化学科第3学年)



本場のスパイスが効いていてとっても美味しい〜♪



谷大生に訪れてほしいお店No.1!

NAYA INDIA NOORでは、インドから取り寄せたこだわりのスパイスを使いながらも、肉や魚、野菜などは日本の食材を使っているため、日本人の口によく合います。お店には大谷大学の先生方がよく食べにこられるそうです。インドと関わりの深い大谷大学ですので、これからも関係が続いていけばいいなと思います。学生の皆さんにも、自分へのご褒美やランチタイムなどでぜひ訪れてもらいたいです。

今回ご紹介したお店の情報はこちら！



店 名 NAYA INDIA NOOR(ナヤインディアヌール)
住 所 京都市北区小山西花池町1-3
交 通 地下鉄烏丸線「北大路」駅
5番出口より徒歩5分
営業時間 11:00~15:00 (L.O.14:30)
17:00~23:00 (L.O.22:30)
定休日 水曜日



2014年度 就職決定状況

2014年度文学部卒業生の就職率（就職者・就職希望者）は、94・1%となり、前年度に比べ3・8%上昇し、過去最も高い就職率となりました。就職先を業種別にみると、小売業、サービス業、製造業、卸売業などの一般企業に約60%、教員を含めた教育・学習関係に約15%、社会福祉・医療関係に約9%となりました。

また、短期大学部卒業生の就職率は、98・7%となりました。就職先としては、幼稚園に約24%、保育所に約62%、一般企業等に約14%となっています。（左ページ参照）

現在の就職環境

本年度の大学新卒者の有効求人倍率は1・73倍と前年の1・61倍より0・12ポイント上昇し、全国の民間企業の求人総数は前年より3・6万人増加し71・9万人となっています。特に、製造業、流通業、サービス・情報業の求人数が大きく増加し、従業員規模別では全ての区分で求人数が増加し、3000名未満の企業における求人倍率は3・59倍と5000名以上の企業よりも2・89ポイント高くなっています。（第32回リクルートワークス研究所調査より）また、企業の多くが、新規事業の創造やグローバル展開といった課題を抱え、それらを担える学生に出会いたいと考え、高い採用基準を設けて活動を行っています。したがって、企業の採用意欲が高まっているとは言え、いわゆる「厳選採用」の傾向は継続されて

おり、学生にとっては楽観を許す状況ではありません。

一方、学生の就職活動においては、今年度に卒業予定の学生から一般社団法人日本経済団体連合会の「指針」により採用選考にかかる活動時期が変更され、採用広報活動が卒業前年度の3月1日、採用選考が8月1日開始となりました。しかし、企業のなかには、8月1日を待たず選考を行い、内定を通知するケースもあり、必ずしも「指針」に則した採用活動とはなっていないのが現状です。

また、「指針」通り、8月1日からの採用選考により、内定を得た学生のなかにはそれまでに得ていた内定の辞退もあり、秋以降に再募集・追加募集を計画する企業もあります。また、新たに採用活動を開始する企業もあり、年末までは企業の採用活動は活発に行われるのではないかと考えられます。

秋以降も就職活動を継続する学生にとっては、卒業論文の作成と時期が重なるため、就職活動と学業の両立に苦労することが予想されます。キャリアアセンターでは、個々の学生に応じた相談・情報提供などの支援を継続して行います。

今後の就職支援

キャリアアセンターでは、就職に限らず、個々の学生が納得のいく進路決定ができるよう、さまざまな支援を行っています。

特に、卒業前年度の就職希望の学生に対しては、前述した就職環境を踏ま

え、個々の学生が就職活動を自身の問題として捉え、主体的に行動することが重要と考え、自己理解、業界・企業研究、エントリー・採用試験の就職活動プロセスに則り各種支援を行っています。これまでに職業適性検査や筆記試験対策、履歴書作成や業界研究に関する就職ガイダンスを実施しています。また、10月以降は、企業研究、職種研究、ビジネスマナー、面接などに関する支援企画を予定しています。特に、この時期に必要なのは、現在実施している履歴書（私の特徴、学生時代に力を注いだこと）作成のための個別面談です。履歴書は、採用選考の第一関門となる重要な書類ですので、早期に取り組む必要があります。また、就活直前ガイダンス、面接実践講座、業界・企業研究講座、就活強化合宿などの支援企画を実施します。

これらの支援企画については、掲示、メール、ダイレクトメールでお知らせします。積極的に参加してください。なお、教員、公務員をめざす学生、進学希望の学生は、別途支援していますので、相談してください。

文学部第1学年、第2学年の就職を希望する皆さんへ

就職活動はまだまだ先と考えていると思いますが、日々の学生生活が卒業後の進路に大きくかわっていることを知っていますか。

社会人として求められる力として、「基礎学力」「コミュニケーション」「主体性」「協調性」が挙げられます。これらの力は容易に身につくものではありません。日頃から学業だけでなく、クラブ活動、ボランティア、アルバイトなどの課外での活動や、さまざまな人々と交流することにより養うことができるものです。

現在の学生生活は充実しているのか？自分は成長しているのか？など、自分自身に問いかけ、見つめなおしてみましよう。そして、将来何がしたいのか夢・目標を見つけてみましょう。



2017年3月卒業・修了予定者対象

今後の就職支援ガイダンス・講座等

【10～1月】

- 履歴書作成のための個別面談

【10月】

- 第2回筆記試験模試・解答解説講座
- 第4回就職ガイダンス（職種研究）

【11月】

- 第5回就職ガイダンス（企業研究）
- 就職活動報告会

【12月】

- ビジネスマナー講座

【1月】

- 面接対策ガイダンス
- 就活強化合宿

【2月】

- 志望理由作成ガイダンス
- 就活直前ガイダンス

【3月】

- 面接対策フォローガイダンス
- 学内合同企業説明会
- 就職ガイダンス

2014(平成26)年度卒業生進路決定状況

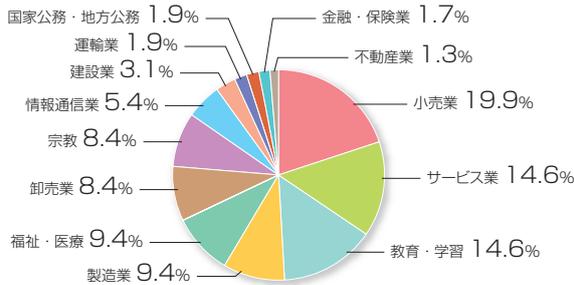
文学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院	大学短大専修学校			
718	522	33	30	13	12	51	57

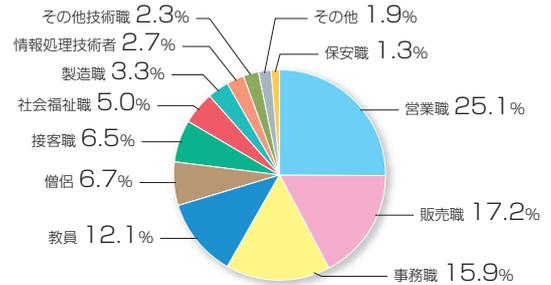
就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
94.1%	78.7%

※進路決定者=就職者+進学者

●業種別進路決定状況



●職種別進路決定状況



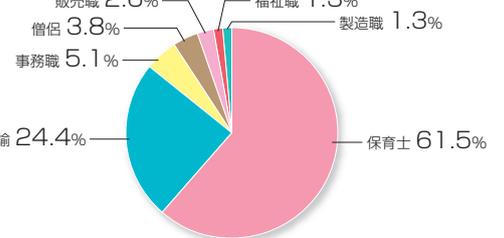
●2014年度就職先(抜粋)

- 建設業**
 - (株)KYOSO
 - (株)鈴木メンテナンス
 - 大東建託(株)
 - やわらぎ住宅(株)
 - (株)ワークホームズ
- 製造業**
 - (株)アコース
 - (株)永昌堂印刷
 - (株)エスユーエス
 - エンゼルプレイングカード製造(株)
 - カイハラ産業(株)
 - (有)柿原銘板製作所
 - (株)コーサー
 - (株)鼓月
 - 佐川印刷(株)
 - 滋賀シズ精工(株)
 - (株)聖徳院ハツ橋総本店
 - (株)進々堂
 - 積水化成工業(株)
 - ダイトデンソー(株)
 - (株)ドック
 - (株)ナリス化粧品
 - (株)西利
 - (株)富士薬品
 - (株)ロック・フィールド
- 情報通信業**
 - SGシステム(株)
 - (株)エフテックコミュニケーションズ
- 運輸業**
 - (株)コスモネット
 - (株)スリーエス
 - (株)アレックス関西
 - ナビオコンピュータ(株)
 - ワールドビジネスセンター(株)
- 卸売業**
 - EH(株)
 - (株)ACN
 - 大原種苗(株)
 - 花王カスタマーマーケティング(株)
 - (株)ユナイテッドアローズ
 - 京都青果合同(株)
 - 京滋ユアサ電機(株)
 - 光昭(株)
 - (株)三笑堂
 - 滋賀特機(株)
 - (株)ショクリュウ
 - (株)たけでん
 - 辻井木材センター(株)
- 小売業**
 - ツルタ電機(株)
 - 日本被服工業(株)
 - (株)パイオン
 - (株)ファーストリテイリング
 - (株)福井近畿クボタ
 - ユニーシーフルーツ(株)
 - (株)渡辺商事
 - 青山商事(株)
 - イズミヤ(株)
 - (株)ユーピーシー・マート
 - (株)エディオン
 - (株)ガリバーインターナショナル
 - 京都トヨタ自動車(株)
 - (株)キリン堂
 - (株)ゲオホールディングス
 - (株)光洋
 - コナン商事(株)
 - (株)コスモス薬品
 - 小林事務機(株)
 - (株)コメリ
 - (株)さとう
 - (株)ジーユー
 - 滋賀テレコム(株)
 - (株)スズキ自販京都
 - (株)セブンイレブン・ジャパン
 - 大東楽器(株)
 - 東神実業(株)
 - (株)トーカイ
- 金融・保険業**
 - (株)ドン・キホーテ
 - はるやま商事(株)
 - 広島トヨタ自動車(株)
 - (株)ファミリーマート
 - (株)平和堂
 - (株)マツモト
 - (株)マツヤスーパー
 - (株)マナベインテリアハーツ
 - (株)万代
 - 三城
 - ミニストップ(株)
 - (株)ユー・ビー・ディー(ゆうメロ)
 - (株)ユタカファーマシー
 - (株)ヨドバシカメラ
 - (株)リパティ
- 金融・保険業**
 - (株)紀陽銀行
 - (株)京都銀行
 - 郡山信用金庫
 - 滋賀中央信用金庫
 - 長浜信用金庫
- 不動産業**
 - (株)京都ライフグループ
 - 東急リパブル(株)
- 福祉・医療**
 - (社)団団恵心会京都武田病院
 - 京都大原記念病院グループ
 - 〔医〕社団行徳会(社)行風会
- 教育・学習**
 - 大阪学院大学
 - 大谷大学・大谷大学短期大学部
 - 福岡大学
 - 三田松原高等学校
 - 彦根総合高等学校
 - すみれ幼稚園
 - 草津幼稚園
 - たけし幼稚園
- 保育**
 - 明幼稚園
 - 一里塚幼稚園
 - 近江八幡市役所(幼稚園教諭)
 - 大原野幼稚園
 - 京和幼稚園
 - 草津市役所(幼稚園教諭)
 - くらたに幼稚園
 - 高倉幼稚園
 - 竹の里幼稚園
 - とりん幼稚園
- 卸売業**
 - (株)ゴールドウィン
- 小売業**
 - (株)土井志ば漬本舗
- 福祉・医療**
 - 洛和会ヘルスケアシステム
- サービス業**
 - 中国ウォッチサービスセンター(株)
 - 日本郵便(株)(日本郵政グループ)
- 宗教**
 - 真宗大谷派宗務所
 - 真宗大谷派三条別院
- 国家公務・地方公務**
 - 人事院
 - 防衛省(陸・海・空)
 - 大阪府人事委員会事務局
 - 教育委員会事務局
 - 枚方市役所
 - 岐阜県警察本部
 - 高知県警察本部
 - 滋賀県警察本部
 - 京都市消防局
- その他**
 - 聖マリア幼稚園
 - 聖母幼稚園
 - ときわ幼稚園
 - 藤波こども園
 - 石川県教育委員会(小)
 - 大分県教育委員会(小)
 - 大阪府教育委員会(小・中)
 - 岡山県教育委員会(中)
 - 京都府教育委員会(小・中)
 - 滋賀県教育委員会(小・特支)
 - 長野県教育委員会(高)
 - 大阪市教育委員会(幼・小・中)
 - 大津市教育委員会(幼・小)
 - 観音寺市教育委員会(幼)
 - 京都市教育委員会(小・中・特支)
 - 甲賀市教育委員会(小)
 - 枚方市教育委員会(小・中)
 - 横濱市役所(保育士)
 - 愛荘町教育委員会(小)
 - 成基コミュニティグループ(株)NOVA
 - 須坂市役所(学芸員)
 - (株)あきんどシロ
 - (株)いかがく
 - (株)ノダコーヒ
 - SGファルダ(株)
 - 大阪中河内農業協同組合

短期大学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院編入	短大専修学校			
98	78	1	8	0	3	3	5

●職種別進路決定状況



※進路決定者=就職者+進学者

●2014年度就職先(抜粋)

- 保育所**
 - 青い空保育園
 - あおば乳児保育所
 - あひるが丘保育園
 - 安朱保育園
 - 宇治武田病院(保育士)
 - 永福保育園
 - 大井保育園・千代川保育園
 - 海印寺保育園・友岡保育園・今里保育園
 - 椋原ふし保育園
 - 桂ぶどうの木保育園
 - カナリヤ保育園
 - 神川保育園
 - 川島保育園
 - 共栄保育園
 - 京都白百合保育園
 - 草津大合保育園
 - くわの実保育園 はこべ分園
 - こだま保育園
 - 下鴨夢保育園
 - 書写保育園グループ
 - すぎのこ保育園
 - せんだん保育園
 - 待鳥保育園
 - 田上保育園
 - 玉野浦保育園
 - チャイルドハウス
 - 月かげ保育園
 - ときわ保育園
 - 長浜愛保育園
 - なないろこども園
 - 南郷保育園・学園前はいくえん
 - 二条保育園
 - ノゾミ保育園
 - 速水保育園
 - 万因寺保育園
 - 森の子保育園
 - 山ノ内保育園
- 幼稚園**
 - 明幼稚園
 - 一里塚幼稚園
 - 近江八幡市役所(幼稚園教諭)
 - 大原野幼稚園
 - 京和幼稚園
 - 草津市役所(幼稚園教諭)
 - くらたに幼稚園
 - 高倉幼稚園
 - 竹の里幼稚園
 - とりん幼稚園
 - 日野町職員(幼稚園教諭)
 - 朋来幼稚園
 - みどり幼稚園
 - みょうぜん幼稚園
 - 夢窓幼稚園
 - 栗原市役所(幼稚園教諭)
 - 若竹幼稚園
- 卸売業**
 - (株)ゴールドウィン
- 小売業**
 - (株)土井志ば漬本舗
- 福祉・医療**
 - 洛和会ヘルスケアシステム
- サービス業**
 - 中国ウォッチサービスセンター(株)
 - 日本郵便(株)(日本郵政グループ)

Our teacher 私たちの先生

鋭い指摘も、学生一人ひとりと向き合う愛があるからこそ。厳しく温かい、頼れる存在です。

教育・心理学科 教授
市川 郁子

京都教育大学教育学部音楽科卒業。京都教育大学附属京都小学校文部教官、京都市立小学校教諭、教頭、京都市教育委員会指導主事（音楽科）、京都市教育委員会地域教育専門主事室専門主事、京都市立東山小学校校長を歴任し、現在に至る。専門／教育学・音楽科教育



子どもたちの美的情操を養う音楽科教育は、幼稚園から小学校の児童教育において重要な役割を果たします。将来、幼稚園・小学校の教員をめざす学生たちが集まる市川ゼミでは、音楽をとおして教育のあり方を学ぶだけでなく、児童と教師、児童と児童、そして、仲間同士の人間関係づくりを深く学び、より良い教育・より豊かな指導とは何かを研究します。

そんな市川ゼミの特徴は、模擬授業や年に一度の音楽劇など、実践に基づく生きた学びが中心になっていること。オープンキャンパスをはじめ幼稚園や小学校からの依頼を受けて音楽劇を行う機会も数多くあり、仲間が力を合わせて取り組んでいくなかで、お互いに理解し合い成長し合えるのが大きな魅力。そのため、何でもざっくばらんに話し合えるほど仲が良いのが自慢です。



紹介してくれた市川ゼミの皆さん【教育・心理学科 第4学年】
写真左より 吉澤 孔さん、市原 萌さん、木下 可菜さん、山本 春さん

音楽が好きで、苦手だからこそ学びたいという人など、さまざまな個性が集まっていますが、仲間たちを一つにまとめてくれるのが、市川先生の楽しく温かな人柄です。学生自身が気づかない弱点を鋭く指摘する厳しさも、一人ひとりときちんと向き合い親身に考えてくれているからこそ。愛ある厳しさから生まれる的確なアドバイスは、新たな発見や学びのモチベーションにつながっています。その温かな視点は児童にもおよび、市川先生のめざす音楽科教育は、将来、幼稚園・小学校教員をめざすゼミメンバーにとって大きな糧になっています。どんな悩みや相談にも親身かつ鋭く応えてくれる、とても頼れる存在です。



先生から学生たちへのメッセージ

子どもにとって教師は大きな人的環境です。あなたの眼差し、ものの言い方はどうですか。やさしく思いやりをもって接すればやさしい子どもに育ちます。子どものよいところを認め、褒めて励ませば、明るく自信を持てる子どもに育ちます。自信とは自分を信じることを。自信は子どもが自分の将来を切り拓いていくことにつながります。子どもの話をきちんと聞き、言い分を尊重する公平性があれば、子どもは正義感を持つことができるでしょう。日々の生活のなかで、だめなことはだめといえる力をつけていくことが正義感を育むことにつながります。人をけなしたり、不平不満を口にしたり、子どもを叱ってばかりいる教師の表情、言葉、行動のすべてが子どもの豊かな成長を阻害します。

私たちは、ゼミで子ども一人ひとりの学習意欲と学力を高め、豊かな人間性を築くための方策を考えてきていますが、その方策の一つが自分自身の人間性を高め、豊かにすることです。あなたは、どのような姿で子どもの前に立ちたいですか。ゼミでの活動をとおして考え続けていきましょう。

教育に関する事業

① 学習支援室

4月に設置した「学習支援室」は、リメディアル教育に主眼を置き、学習支援アドバイザーを配置して、基礎英語・日本語の読み書きを中心としたきめ細やかな個別指導を行いました。2014年度の実績は以下の3点が挙げられます。

・利用者の確保

4月開設以降、利用者は月を追うことに加え、来訪者数は、延べ1741名(前期836名、後期905名)となりました。開設初年度でありながらも、本学のリメディアル教育の拠点として機能することができました。

・英語教育におけるオリジナル教材の作成

学習支援室では英語の授業科目と連携を図り、学習支援アドバイザーが作成したオリジナル教材を3クラスで使用しました。授業毎に授業内容の理解度、感想・意見をアンケートで調査し、授業運営や教材の改良に反映しました。

・受験生へのアピール

オープンキャンパスでは、学習支援室を開室して模擬授業を行い、リメディアル教育に対する本学の支援体制をアピールすることができました。

② 教育推進室

・日本語教育の検討

日本語教育の具体的内容を検討するため、新入生全員を対象に「日本語の読み・書き」に対する意識・習慣等を把握することを目的としてアンケートを実施しました。また、「日本語の読み・書き」が不得手な学生に学習支援室が主体となり開設している授業への受講登録を促すため、新入生を対象に文章チェックシートを実施しました。登録学生には、授業内での指導だけでなく学習支援室と連動し個別に指導しました。

③ 就職支援センターの取り組み

・特別支援学校教諭教員養成課程

新たに特別支援学校教諭一種免許状取得課程を開設し、教育・心理学科では49名、他学科で7名の登録がありました。2014年度に開設したのは3科目に限られましたが、授業運営の状況や教員・学生の要望を確認しながら、教材の準備、採用試験に向けたテキストなどを準備しました。また、学生からボランティアの希望(地域・期間)を聴取して特別支援学校に依頼しました。

・教員免許状更新講習

文部科学省に申請し、6月8月12月に必修科目2講習、選択科目23講習を開講しました。本学以外に京都府北部滋賀県・長野県・岐阜県・香川県・大分県にも出張開講しました。卒業生と関連学校の先生方も含め、延べ1592名(実人数759名)の受講がありました。

④ 国際化教育の取り組み

2014年度は、語学研修(カナダ)、文化研修(インド)研修、ドイツの4研修を実施しました。正課外では、グローバルスキルの留学支援の結果、中国、韓国、アメリカ、カナダ、オーストラリアに11名の留学生を送り出すことができました。

学生支援に関する事業

① 配慮学生への支援

身体的・精神的に配慮が必要な学生への対応として、定期的に「障がい学生担当者会議」を開催し、事務所間で情報を共有したほか、関係部署で研修会を実施しました。また、2015年度に「障がい学生支援委員会」を設置するための準備を行いました。

その他、テイクアウトテイク制度利用者に参加対象とした「テイク懇談会」を半期ごとに開き、「よりよいサポートのあり方」をテーマの一つとして意見を交換しました。

② 奨学金

奨学金ガイドブックをはじめポスターや情報提供システムなどの各種媒体を利用して広報しました。また、「東本願寺奨学金」が2014年度に新設されたことから、学内規程を整備し選考しました。

③ 課外活動への支援

・クラブ活動

2013年度から課外活動団体加入率の達成基準を40%以上に設定して支援を行ってきました。文学部の学生では、2014年度に49.9%と基準を達成することができました。また、正課のクラブ活動以外では、ドッジボールアジアカップ(日本代表キャプテン)、全日本学生将棋十傑戦、世界スポーツチャンバラ選手権大会、全日本大学個人ボウリング選手権大会に出場した4名の学生に、教育後援会から、「赤レンガ賞」が贈られました。

④ キャリア支援

各種ガイダンス、就職支援企画を実施するにあたり、就職活動における位置づけを明確にするとともに、それぞれの支援企画が単発企画にならないよう周知段階からテーマならびに他の企画との連携性を明示して実施しました。また、ガイダンス等で

の説明内容の理解を深めるために、就職支援の軸としている個別面談を積極的に利用するよう促した結果、年間3251件の個別面談がありました。

文部科学省ジョブパーク等が企画する企業との交流会、情報交換会、企業見学会等に参加し、近畿地区を中心とする企業90社と情報を交換しました。

2016年3月卒業予定者を対象とした進路就職ガイダンス年度当初のオリエンテーション期間において、進路就職システムへの一斉登録を行いました。その後、未登録者に対して登録を促した結果、年度末には登録率が85.6%となりました。登録者にはメールを配信し、各種ガイダンス等の告知求人などの情報を提供しました。

6月7月にかけて、文学部第3学年を対象としたゼミ別進路ガイダンスを教育・心理学科教育コースを除く、62ゼミで実施しました。また、低学年次学生には年度初のオリエンテーション期間内ガイダンスのほか、文学部第2学年を対象としたキャリアガイダンスを10月に実施しました。

研究に関する事業

真宗総合研究所

本研究が推進する研究活動の中心は、大学が主体となつて進める共同研究の「特定研究」と指定研究です。2014年度は「特定研究」として教上人研究「指定研究」として清沢満之研究、国際仏教研究ベトナム仏教研究、西蔵文蔵研究の5研究班が研究を遂行しました。

2014年度は「特定研究」教上人研究と「指定研究」清沢満之研究の開始年度であり、いずれの研究班においても一次史料の収集・調査やデータベースの整備・作成など、今後の研究遂行の足場となる作業が着実に進められました。「指定研究」においては、国際的仏教研究のネットワークを拡げるための学術交流、共同研究の推進において持続的な研究成果を上げるとともに、国際仏教研究班が独立する形で新たにベトナム仏教研究班が立ち上がり、ベトナム社会科学アカデミーとの学術協定に基づく覚え書きを交わして具体的な共同研究計画の推進に向けて本格的に動き始めました。更に、真宗総合研究所直轄プロジェクトとして、大谷大学史料室、東本願寺海外布教資料室、デジタル・アーカイブ資料室の3資料室を置き、関係資料の収集・整理を継続的に進めました。

また、真宗総合研究所において、教員個々の主体的な関心に基づく研究を推進するための「一般研究」としては、科学研究費助成事業に採択された研

究25件、次年度以降の科学研究費助成事業申請のための予備研究(1件)、そして個人研究の本研究(1件)、計27件の研究を推進しました。

施設に関する事業

大谷大学本部キャンパス総合整備計画

2014年度は、大谷大学本部キャンパス総合整備計画(仮称)新教室棟新築工事の第1期工事を着手し、来客用駐車場移転、学生支援部事務室・個人研究室を移転する仮校舎建築工事、弓道場の移転新築工事、3号館機能を移転する1号館改修工事、インフラ切替工事、駐輪場の移転工事などを行いました。

仮校舎は9月に竣工し、教務課・学生支援課の事務室移転後、2月にはキャリアセンターと個人研究室を移転しました。また、3月には1号館改修工事、インフラ切替の完了と併せ、新弓道場も竣工し、第1期工事が終了しました。

2015年3月からは第2期工事に着手しています。

社会への開放

① 生涯学習講座

2014年度前期の生涯学習講座は、特別講座1講座、開放セミナー2講座、黎明講座3講座、京都学講座1講座、博物館セミナー1講座を開講しました。学外団体への提供講座については、大学コンソーシアム京都に京カレッジ京都力養成コースに1講座を提供しました。

後期の生涯学習講座については、開放セミナー3講座、黎明講座5講座を開講しました。学外団体への提供講座については、京都市企画「京あるき」(東京都)「2015」に「聖俗交錯する都市・中世京都」(講師・川端泰幸)の1講座を提供し、本企画では過去最高の125名の受講がありました。

なお、近鉄文化サロンとの共催を企画・準備し、2015年8月にはじめて学ぶ親鸞講師・西本祐輔講師を開講することができました。

② 博物館

博物館では、毎年、1回の特別展と4回の企画展を実施しています。2014年度は、前年度に開館10周年を迎えたこともあり、新たな気持ちで各展示を展開しました。特別展では、近年話題性の高い「戦国武将」を取り上げ、関連資料を多数他機関より借用し展示しました。入館者数実績は昨年度を上回ることはできませんでしたが、例年と同程度の方に来館いただきました。

2014年度決算

2014年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2015年5月25日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されています。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金等が含まれます。

2014年度の補助金収入には、新教室棟(仮称)耐震新築工事のために交付が決定された3億4527万円余が含まれています。

資金支出には、学生の教育研究および学生生活にかかわる教育研究経費や教職員の人件費の他に、学生募集の広報等の管理経費と、施設や設備関係支出があります。教育研究経費には、就職支援のためや、教職・実習支援に関する経費の支出が含まれています。施設関係支出では、本部キャンパス総合整備に着手し、

2014年度には、弓道場移転新築や仮校舎(学生支援部事務室・個人研究室)建築工事等を行いました。

消費収支計算書

消費収支計算書は、授業料や補助金などの収入(帰属収入)と、施設・設備の減価償却額や資産除却額などを含む、その年度に消費する支出(消費支出)との内容および均衡の状態を明らかにするものです。

貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動

● 2014年度資金収支計算書(2014年4月1日～2015年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,684,616,750	人件費支出	2,576,659,823
手数料収入	79,602,160	教育研究経費支出	1,008,026,828
寄付金収入	169,988,073	管理経費支出	427,714,437
補助金収入	787,863,944	借入金等利息支出	13,998,600
国庫補助金収入	787,558,000	分担金支出	12,000,000
地方公共団体補助金収入	305,944	借入金等返済支出	111,100,000
資産運用収入	133,635,690	施設関係支出	947,472,984
事業収入	25,634,470	設備関係支出	98,494,339
雑収入	92,488,475	資産運用支出	810,000,000
前受金収入	659,374,440	その他の支出	81,475,651
その他の収入	1,112,174,822		
資金収入調整勘定	△1,107,007,523	資金支出調整勘定	△61,338,719
前年度繰越支払資金	6,254,954,362	次年度繰越支払資金	5,867,721,720
収入の部合計	11,893,325,663	支出の部合計	11,893,325,663

● 2014年度消費収支計算書(2014年4月1日～2015年3月31日) (単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,684,616,750	人件費	2,572,707,570
手数料	79,602,160	教育研究経費	1,523,077,674
寄付金	173,083,044	(うち減価償却額)	(512,414,845)
補助金	787,863,944	管理経費	452,843,083
国庫補助金	787,558,000	(うち減価償却額)	(24,932,302)
地方公共団体補助金	305,944	借入金等利息	13,998,600
資産運用収入	131,749,335	分担金	12,000,000
事業収入	25,634,470	資産処分差額	3,294,636
雑収入	100,475,680	徴収不能引当金繰入額	216,000
		消費支出の部合計	4,578,137,563
帰属収入合計	4,983,025,383	当年度消費収入超過額	204,963,418
基本金組入額合計	△199,924,402	前年度繰越消費収入超過額	3,137,826,034
消費収入の部合計	4,783,100,981	翌年度繰越消費収入超過額	3,342,789,452

には、施設や設備など膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。なお、当学園全体の貸借対照表はホームページで公表しています。

2015年度予算

2015年度予算は、2015年3月24日開催の学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において当初予算が承認され、新学期を迎える在学生数が確定した後の、7月3日に開催された理事会・評議員会において補正予算が承認されました。

2015年度は、前年度に開設した基礎英語・日本語のリメディアル教育の拠点となる学習支援室に、学習支援アドバイザー常駐スタッフを増員するための費用や、文藝塾に「書く」ことを生業としている職業人の講師を招く費用等を計上しています。

また、キャリア支援では、現在の就職環境に対応するために、引き続き、アドバイザーの支援の充実を図るとともに、各種ガイダンス、セミナーの開催等の予算を計上しています。

2015年度も本学の教育研究の一層の充実を図るために予算を執行してまいります。

「父母兄弟懇談会」について

「父母兄弟懇談会」とは、教育後援会の役員ならびに大学執行部のほか、学生支援部をはじめとする各関係事務部門の職員が出席し、大学の現状報告と、個別相談にも応じる懇談会です。また、大学出席者ご父母兄弟の皆さま相互の親睦を図っていただくため、懇談会も併せて開催いたしております。

「北海道地区父母兄弟懇談会」開催報告

本年度は、7月11日(土)に、北海道在住の父母兄弟を対象とした「北海道地区父母兄弟懇談会」が札幌市の「札幌グランドホテル」において開催されました。

懇談会は教育後援会役員出席のもと、学長より、大学の理念・教育目標について報告がなされ、学監・事務局長より、教育研究活動の現況について報告されました。また、学生支援部職員より、履修状況の確認方法や登録方法について、クラブ活動、奨学金制度、防災時などの緊急時に対する学生生活のサポート体制について、さらに、近年の進路就職状況の傾向や支援体制についての説明を行い、父母兄弟との協力が呼びかけられました。

その後の個別相談会では、学生支援部職員が一人ひとりの相談に応じました。懇談会に引き続き催された懇親会では、同日開催をしていた「大谷大

学同窓会北海道地区支部長会」と合同で行い、同窓会副会長をはじめ、多くの方にご参加いただき、なごやかなひと時を過ごしていただくことができました。

なお、今後の開催につきましては左記のとおりです。今後開催されます該当地区の皆さまには、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。



札幌会場（個別相談会の様子）



札幌会場（懇親会の様子）

◆四国地区父母兄弟懇談会 開催日程

2015年 12月12日(土)	松山全日空ホテル(愛媛県松山市)
2015年 12月13日(日)	ロイヤルパークホテル高松(香川県高松市)

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業計画を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかわる証明(税額控除制度)を受けておりますので、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

今後もし引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

なお、2015年2月1日から2015年6月30日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。厚く御礼申し上げます。

教育振興資金寄付者(敬称略)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 相場行宣(新潟県) | 櫻木証(天分県) | 林和豊(滋賀県) |
| 青木智了(福岡県) | 佐々木紫織(岐阜県) | 林真通(茨城県) |
| 井深よしみ(岐阜県) | 宍戸廣宣(京都府) | 藤村恵子(静岡県) |
| 今川定一(京都府) | 白木澤建生(宮城県) | 藤本和枝(大阪府) |
| 岩本三郎(京都府) | 末永弘暢(長崎県) | 藤原葉一郎(京都府) |
| 勝間靖(岡山県) | 竹松杉人(長野県) | 舟橋尚哉(愛知県) |
| 門脇洋司(島根県) | 千葉猛(北海道) | 真継秀雄(京都府) |
| 加納達巳(福井県) | 中島正英(京都府) | 松山公顯(愛知県) |
| 河尻美佳(石川県) | 中田剛(石川県) | 三村真寛(大阪府) |
| 小泉徹弥(兵庫県) | 愛徳誓城(石川県) | 棟長照夫(滋賀県) |
| 佐長光祥(香川県) | 秦康昭(神奈川県) | 森川善照(大阪府) |
-
- | | |
|------------|------------------|
| 矢加部和子(福岡県) | 大谷大学同窓会三条支部(新潟県) |
| 矢頭恵造(山梨県) | (有)石間企画事務所(東京都) |
| 吉川一憲(岐阜県) | NPO法人 尋源舎(京都府) |
| 匿名 24名 | 相山合資会社(東京都) |
| 匿名 2件 | |

現在進行しております、キャンパス総合整備・新教室棟建築に係る募金につきましては、募金趣意書を12月にお送りする予定です。お手元に届きました際には、ご協力賜りましたら幸いです。また、既にこの建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者」一覧とは別に、寄付者名簿を作成する予定です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

お問い合わせ先

教育振興資金事務局 〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内
TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157
E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

◆件数 66件 ◆寄付金総額 3,755,000円

抽象画

しばらく前、いろいろな意味で大変な月日をロンドンで過ごした。焦りやプレッシャー、孤独と閉塞感、出口の見えない暗い道を歩いているような感覚を払いのけようと、やみくもに図書館で本を読む毎日であった。そして、夕方からのおきまりのコースは入場無料の美術館や博物館巡り。ある日、何本もの黒の直線で仕切られた、大小さまざまな四角形を赤、灰、白、黄、青で塗り分けた、ただそれだけの絵に目が釘付になった。正直言ってこれまで嫌い、素通りしていたジャンルの絵である。なのに、大げさではなく一枚に世界を感じた。複雑そうに見える世の中も突き詰めれば、四角の形やその大小、色の違い、線の太さといっただけの違いに過ぎないのかもしれない、と思った。

これまで歴史を学びながら、具体的な姿を、細かな違いを、微妙な変化を追い続けることに終始してきた。それらを具象の追求とするならば、細かな違いを捨象し、より重要な要素のみを取り出し、明快なコントラストによって表現する抽象の世界が、時代も地域も

超える迫力を持って迫ってきたのだ。えも言われぬ興奮が全身を包み、この感覚を忘れないように必死にその絵を見続けた。暗い世界にまたたくような一筋の光が見えた気がした。

具象の積み重ねから見えてくる世界は確かに重要である。しかしながら、ここに終始してはより広い世界には到底たどり着けないのかもしれない。ミクロの積み重ねからはマクロは生み出せないことだろう。頭では理解してきたつもりだった。でも、体を突き抜けるような体験として、まさに身に染みて感じることはなかった。暗い精神状態がそれを感じさせたのかもしれない。最近、あの絵のポスターを手に入れた。折に触れて見返している。あの時の感覚を忘れないように、そしてこれから先の目標を忘れないように。暗い時期もすてたものではない。



歴史学科
講師
井黒 忍
専門分野/
東洋史(中国近世史・環境史)

時代を照らす仏教のことば

無碍の光明は

無明の闇を

破する恵日なり。

親鸞「教行信証」総序(「真宗聖典」P.149)

編集後記

今回の巻頭対談ページ「私たちの課題」では、文藝塾について語っていただきました。今春から始まったばかりですが、対談した学生からは文藝塾に対する熱意を大きく感じました。在学生の皆さんにも熱中できるものを見つけ、そこから得たものを力にして、社会へ大きく羽ばたいてほしいと思います。(編集担当)